

## 17. 呼吸器外科（選択）

### 1. 一般目標（GIO）

将来の専攻科にかかわらず、呼吸器外科に必要な基本的診療能力を身につけ、医師として望ましい姿勢・態度を身につける。

#### 呼吸器外科に必要な基本的診療能力

- ・呼吸器外科医療の包括的な考え方。
- ・呼吸器外科特有の医療面接、診察方法、治療行為の経験。
- ・呼吸器内科との緊密な協力体制により、内科と外科とのチームワーク医療の実践。
- ・死亡原因として非常に高い肺がんに対する知識および癌患者に対する包括的な対応。
- ・外科学会専門医の取得に対応した研修。

### 2. 具体的目標（SBOs）

#### (1) 基本的姿勢・態度

- 1) 医師、看護師、検査技師、薬剤師、理学療法士など医療の遂行にかかわる医療チームの構成員としての役割を理解し、チーム医療を実践できる。
- 2) 節度と礼儀を守り、患者・家族と接し、また、守秘義務を果たし、患者・家族の人権・プライバシーへの配慮ができる。
- 3) 医療事故防止および事故発生後の対応について、マニュアルに沿って適切な行動ができる。
- 4) 院内感染対策を理解し実施できる。
- 5) 医療保険制度、公費負担制度を理解して診療できる。

#### (2) 診察法・検査・手技・周術期管理

##### 1) 医療面接

- ① 患者に不安を与えずに接することができる。
- ② 診療に必要な情報を的確に聴取することができる。
- ③ 緊急性が求められる場合は、診察をおこないながら必要な情報を収集できる。

##### 2) 身体診察

- ① 胸部の聴診・打診ができる。
- ② リンパ節の触診ができる。
- ③ 四肢の血圧の測定ができる。
- ④ 腹部の聴診・打診・触診ができる。

##### 3) 臨床検査

- ① 検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる。
  - ・一般尿検査（尿沈査顕微鏡検査を含む）
  - ・血算・白血球分画（計算板の使用，白血球の形態的特徴の観察）
  - ・血液型判定・交差適合試験
  - ・心電図（12誘導）
  - ・動脈血ガス分析
  - ・血液生化学的検査・簡易検査（血糖，電解質，アンモニア，ケトンなど）
  - ・血清免疫学的検査（CRP，免疫グロブリン，補体など）
  - ・細菌学的検査・薬剤感受性検査
  - ・検体の採取（痰，尿，血液など）
  - ・単純X線検査
  - ・X線CT検査

##### 4) 手技

- ① 指導医のもとに経験することが求められる（術者または介助）手技
  - ・静脈採血、動脈採血が安全に正しくできる

- ・皮内、皮下、筋肉、静脈注射が安全に正しくできる
- ・末梢静脈点滴ルート、末梢動脈ルートが確保できる
- ・局所麻酔が正しくできる
- ・導尿ができる
- ・気道確保と人工呼吸ができる
- ・閉胸式心臓マッサージができる
- ・除細動を実施できる
- ・気管内挿管による気道確保ができる
- ・簡単な切開・排膿を実施できる
- ・創部消毒とガーゼ交換が実施できる
- ・気管支鏡検査におけるカメラ挿入や観察の介助ができる

② 指導医のもとで術者可能な手技

- ・処置：胸腔穿刺、胸腔ドレナージなど
- ・手術：胸腔鏡下肺嚢胞切除術、胸腔鏡下肺部分切除術など

5) 周術期管理

- ① 術前データを基に、指導医とともに手術適応や手術法の選択ができる。
- ② 併存疾患の有無を評価し、他科との協力を通して患者全体にわたる適切な管理ができる。
- ③ 周術期の輸液管理、循環・呼吸管理、栄養管理、感染症対策としての抗菌薬使用、創傷管理が行える。

(3) 症例提示

- 1) 的確な症例のプレゼンテーション・討論ができる。
- 2) 症例に関する文献検索が行える。
- 3) 臨床症例に関するカンファレンスや学術集会に参加する。

(4) 診療計画

- 1) 診療ガイドラインやクリティカルパスを理解、活用し診療計画を作成できる。
- 2) 入退院の適応を判断できる。

3. 方略

(1) OJT (on the job training)

- 1) 研修医は、毎朝夕の回診について呼吸器外科入院全患者の把握をする。
- 2) 指導医のもとで患者の面接、検査、診察を行い、カルテに記録する。検査結果、診察所見を指導医に報告し、治療方針、今後の予定を立案する。記載したカルテは、指導医とともに検討する。
- 3) 指導医とともに、手術、気管支鏡検査に参加する。

(2) カンファレンス、症例検討会

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	回診 外来	回診 手術	回診 外来	回診 外来	回診 外来
午後	回診	手術 回診	気管支鏡 回診	気管支鏡 回診	気管支鏡・手術 回診 術前症例検討会

(3) 学会

日本外科学会、日本胸部外科学会、日本呼吸器外科学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本肺癌学会等

#### 4. 評価

- (1) 形成的評価：常にフィードバックを行う。
- (2) 総括的評価：PG-EPOC にて行う。